

ロシアによるウクライナ侵略を非難し、抗議する決議

プーチン・ロシア大統領は、去る2月21日、ウクライナの一部である、自称「ドネツク人民共和国」及び「ルハンスク人民共和国」の「独立」を承認する大統領令に署名し、同22日、両「共和国」との間での「友好協力相互支援協定」を批准した。その後、同24日、ウクライナへの侵略を開始し、既に、一般市民を含め多数の死傷者が出ている状況にある。

ロシアの武力攻撃は、ウクライナへの重大な主権侵害であり、国際社会の秩序の根幹を揺るがしかねない極めて深刻な事態である。また、世界の平和と秩序、安全を脅かし、かつ明らかに国連憲章に違反する行為であり、断じて容認することはできない。

平塚市議会は、ロシアによるウクライナへの攻撃や主権侵害に対し、最も強い言葉で非難すると共に強く抗議の意を表する。国際法に基づき、ロシア軍は完全かつ無条件で即時に撤退を強く求める。また、政府に於いては、引き続き、関係各国及び国際社会との緊密な連携のもと厳格かつ適切な対応を講じられるよう、強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月8日

平塚市議会